

# 修士学位論文等要旨

Abstract of Master's Dissertation or Selected Topical Research

論文提出者 / The person who submits a thesis	
	専攻名 / Department 工学専攻
	分野名 / Division 水環境・土木工学分野
	学籍番号 / Student ID 16w3019h
	氏名 / Name 梁祖翹
論文等題目 / Title	
香港における駅前都市空間構造の特性に関する研究	
論文等要旨 (1,000 字以内) / Abstract (Within 1,000 characters in Japanese or 300 words in English)	
<p>都市における人々の活動や環境を、その背後の都市空間にある法則性や規則性から検討することは、その都市の都市計画を考える上で重要な視点となる。人口増加が続き、コンパクトかつ高密度な都市空間である香港は、人々にとって、都市そのものが住居であり、住居は生活の中心というよりは一部で、住居と都市の外部空間での生活は非常に近い。香港の人々にとってその外部空間とは駅前である。香港の大部分の都市機能は生活空間として駅前の都市空間に集積する現状がある。香港における駅前空間は、バスの乗降機能、鉄道乗降機能、駐車施設機能、アメニティ機能、経済活動機能等、様々な用途に基づく機能を持つ希少な空間であり、その貴重な資源である駅前空間の整備は、都市計画上極めて重要である。</p> <p>本研究は香港の駅前の都市空間を対象にして、Space Syntax 理論に基づく分析を通して、都市構造に関する現状を把握すると共に、その都市構造の類型を導き出す。これを基礎に多様な形態と用途が複合する市街地の特性を検討し、よりよい都市の活性化のために有用で基礎的な知見を得ることを目的とする。具体的には、以下の三つを目的とする。</p> <p>①香港中心部の空間構造を分析し、街路空間構造と沿道施設要素分布から都市形態の特徴を取り上げる。②香港中心部の駅前空間内の土地利用の状況を分析して、その施設集積の状況と立地分布から、それぞれの空間内の実態を把握する。③香港中心部の駅前の空間構造を類型化し、それをを用いた空間共存分類の方法論を確立し、香港中心部の駅を対象とした具体的な空間構造の分析から、その有効性を検証する。</p> <p>その結果、①香港中心部の空間構造の特徴として、一番多い施設要素は低層商住施設であり、空間を有効に活用しアクセス性の良い街路に立地することで、コンパクトシティを実現していることが判明した。②各駅前の都市空間にはそれぞれ特徴があり、施設集積の実態から住宅街、商業街、オフィス街、工場地域を都市機能の構成から分類できた。③街路特性指標と空間共存指標から、新たな街路特性の分類手法として空間共存分類という方法論を提唱した。この方法を用いて、各分類に属する駅前の空間構造の特徴を把握し、分類の共通点を評価することにより、この有効性を確かめた。</p>	